

引用文献

- ・ アステラス製薬.(n.d.).リンゼスの製品 Q&A 使用法 リンゼスを食後に服用してもよいでしょうか. <https://amn.astellas.jp/jp/di/qa/lnz/index.html>(検索日 2018 年 1 月 18 日)
- ・ チャールズ・A・ラップ,リチャード・J・ゴスチャ.(2012/2014).栄セツコ(訳),第5章ストレングスアセスメント.田中英樹(監訳),ストレングスモデル リカバリー志向の精神保健福祉サービス第3版(pp125-178).金剛出版.
- ・ 中央社会保険医療協議会.(2015).外来医療 (その①) .
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000081548.pdf> (検索日 2018 年 1 月 3 日)
- ・ 古川良幸,溝田純之,谷山新次,谷島雄一郎,川崎成良朗,羽生信義.(2012).高齢者における下部消化管機能と大腸手術.Geriatric Medicine,vol.50,No.8,p941.
- ・ 齋木啓子.(2016).Ⅱ-2 診療所での認知症診断の実際.平原佐斗司(編),医療と看護の質を向上させる認知症ステージアプローチ入門 早期診断、BPSD の対応から緩和ケアまで(p.87).中央法規.
- ・ 濱口恵子, 青木富士子, 吉田佳津子, 斎藤安子, 長谷川裕貴代, 高橋ナヲ子. (2008). 【外来の未来に向けて 看護の質向上とシステム改革】 問題提起 外来の現状と課題 現場の声.看護, 60 (5), 44-48.
- ・ 堀内朗.(2012).高齢者排泄障害(機能性腸障害)の診断・治療.Geriatric Medicine.50(8),929.
- ・ 本田 彰子(2014).正野 逸子, 本田 彰子 (編).在宅看護過程 : 関連図で理解する,第二章 在宅看護過程の捉え方(p16).メヂカルフレンド社.
- ・ 今田 綾子, 小川 知子, 高谷 真由美. (2005). 外来看護におけるプライマリーナーシングの導入とアセスメントツールの作成. 医療看護研究, 1 (1), 37-42.
- ・ 医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会.(2015).医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会 第1次報告 ~医療機能別病床数の推計及び地域医療構想の策定に当たって~.
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/shakaihoshoukaikaku/houkokusyo1.pdf> (検索日 2017 年 12 月 21 日)
- ・ 川越雅弘.(2009).看護師・介護職員の需給予測.季刊・社会保障研究.45(3).219.
- ・ 川口幸子.(2014).PFM が導くスムーズな入退院.看護展展望.39.25.
- ・ 数間恵子,青木春恵,小池智子,高橋雪子,原雅子,長井浜江... 坂本一步.(2002).外来看護機能

- のあり方：外来における看護相談機能拡充・確立に向けたデータベース作成のための基礎研究.平成 13 年度 看護政策立案のための基盤整備推進事業報告書. 日本看護協会.3-102.
- ・数間恵子,小林康司.(2005).在院日数短縮化によるケア必要量の増加とニーズの多様化.インターナショナルナーシングレビュー.28(1).32-36.
 - ・数間恵子(編).(2017).第 1 章 1 在宅療養指導料が新設された背景.The 外来看護 時代を超えて求められる患者支援(pp14-16).日本看護協会出版会.
 - ・ Keith,M.,David,E.R.,Theresa,S.Frances,D., Ammar,H.K.,Giada,D.P.,Karen ,M., Premysl,B.,Stephen,Vanner.(2016).FODMAPs alter symptoms and the metabolome of patients with IBS: a randomised controlled trial. Neurogastroenterology , doi:10.1136/gutjnl-2015-311339
 - ・ 児島 由利江, 永田 智子. (2015). 【地域包括的視点を重視した看護マネジメント”実践編” お互いの強みを活かし,最後まで安心して暮らせる地域をつくるための知識と実践】専門性の高い看護師配置による地域包括ケア時代の新たな PFM システムの構築 福島県立医科大学会津医療センター附属病院の取り組み. 看護管理, 25 (9) , 750-755
 - ・ 厚生労働省. (2008). 安心と希望の医療確保ビジョン.
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/06/dl/s0618-8a.pdf>
 - ・ 厚生労働省.(2016).平成 26 年度受療行動調査（確定数）の概況.
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jyuryo/14/dl/kakutei-gaikyo-all.pdf>
 - ・ 厚生労働省.(n.d.). 医療法施行規則(昭和二十三年厚生省令第五十号)(抄) .
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000171038.pdf>
 - ・ 厚生労働省.(n.d.).育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律.
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000132029.pdf>
 - ・ 厚生労働省.(2017).平成 29 年度病床機能報告報告マニュアル①.
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000176914.pdf>
 - ・ 厚生労働省社会保険審議会医療保険部会社会保険審議会医療部会.(2013).平成 26 年度診療報酬改訂の基本方針.
http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000031544.pdf

- ・前川厚子. (2015). 在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション (改訂 2 版) (p40). オーム社.
- ・水戸美津子. (2014). 在宅看護 (p7). 中央法規出版.
- ・水口公信.(1997).痛みとは-そのメカニズムと心身に与える影響-.看護技術.43(4).9-15.
- ・村上礼子, 松浦利江子, 中村美鈴, 小原泉, 川名子智絵, 北村露輝他, 水戸美津子. (2014). 大学病院の外来に勤務する看護師が認識する外来看護実践上の課題と看護専門外来開設に向けての示唆. 自治医科大学看護学ジャーナル, 11, 55-64.
- ・内閣府.(2017).平成 29 年版 高齢社会白書.
- ・中村円. (2015). 若手看護師の行う積極的な退院支援に影響を及ぼした要因. 日本看護学会論文集: 看護管理, (45), 327-330.
- ・日本看護協会.(2007).2006 年病院における看護職員需給調査.16-24.
- ・日本看護協会.(2010).外来における看護の専門性の発揮に向けた課題.

<https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/fukyukeihatsu/gairaikango0731.pdf>

(検索日 2018 年 1 月 29 日)

- ・日本看護協会.(2016).2015 年病院看護実態調査.
- ・日本看護協会.(2017).一般外来の看護配置.2016 年病院看護実態調査.10-11
- ・新村出(編).(2008).広辞苑第六版.岩波書店.
- ・錦織梨紗,永田智子.(2017).外来看護師による在宅療養支援ニーズ把握の実態—一般病院を対象とした全国調査—.日本地域看護学会誌.20(2).29-37.
- ・小俣政男,千葉勉.(監修).(2013).専門医のための消化器病学(第 2 版).医学書院. 218-223.
- ・大島伸一.(2013).超高齢社会と医療. 学術の動向.公益財団法人日本学術協力財団.76-79.
- ・大津 佐知江, 佐伯 圭一郎, 草間 朋子. (2009). 外来看護の質向上のための環境システム整備に関する調査. 看護科学研究, 8 (2), 21-28.
- ・佐賀建.(2017).読む!新薬(第 11 回)便秘とともに腹痛、腹部不快感を改善 グアニル酸シクラーゼ C 受容体アゴニスト リンゼス リナクロチド.クリニックマガジン.44(8).30-31.
- ・佐々木妙子, 青山満理子, 神文子, 渋谷久美子. (2015). 国立病院機構病院における外来通勤看護師配置は適切か 看護部長へのアンケート集計から. 医療, 69 (3), 144-150.
- ・佐藤日菜,田口敦子,永田智子,山内悦子,浦山美輪,戸村ひかり,鷺見尚己.(2017).特定機能病院における外来看護師による在宅療養支援の実態.日本地域看護学会誌.20(2).80-86.
- ・社団法人日本心身医学会用語委員会(編).(2009).心身医学用語辞典第 2 版.三輪書

店.145-146.

- ・ 島田陽子,井部俊子.(1996).外来看護サービスの実態とその評価厚生科学研究から.看護学雑誌.60(9).810-814.
- ・ 清水久美子. (2007). 成果を上げる外来看護の取り組みガイド(p23). 日総研出版.
- ・ 篠田 道子. (2012) 全国訪問看護事業協会. ナースのための退院調整 : 院内チームと地域連携のシステムづくり (第 2 版) (pp34-37). 日本看護協会出版会.
- ・ 菅田勝也,高橋美智,藤枝知子.(1992).外来看護の業務分析.看護管理 2(3).179-185.
- ・ 総務省統計局.(2016).平成 28 年国民生活基礎調査,e-Stat.
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001184846>
- ・ Twycross,R.,Wilcock,A and Toller,C.S. (2009/2010).下山直人(訳),2 .痛みのマネジメント. 武田文和(監訳),トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント 第 2 版(p13).医学書院.
- ・ 内山綾子.(2016).2015 年「病院看護実態調査」結果概要 需給動向や今後の医療の方向性のポイント.看護.7.76-85.
- ・ Underwood,P.R.(1995).勝原裕美子(訳),コンサルテーションの概要-コンサルタントの立場から.インターナショナルレビュー.18(5).4-12.
- ・ 齋木啓子.(2016).Ⅱ-2 診療所での認知症診断の実際.平原佐斗司(編),医療と看護の質を向上させる認知症ステージアプローチ入門 早期診断、BPSD の対応から緩和ケアまで(p.87).中央法規.
- ・ 宇都宮宏子.(2012).退院支援・退院調整を理解するための 3 段階プロセス.宇都宮宏子・三輪恭子(編).これからの退院支援・退院調整.ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域(pp10-11).日本看護境界出版会
- ・ 和田忠志.(2014).successful aging を支える外来診療.高齢者外来診療.中山書店.2-6.
- ・ 和田忠志,太田秀樹,大島浩子.(2016).第 1 章「これからの在宅医療-指針と実務」各章へのアプローチ Q&A.大島伸一(監),これからの在宅医療-指針と実務(p18).グリーンプレス.
- ・ 鷲見尚己, 村嶋幸代, 鳥羽研二, 大内尉義. (2001). 退院困難が予測された高齢入院患者に対する早期退院支援の効果に関する研究 特定機能病院老年病科における準実験研究. 病院管理, 38 (1), 29-40.
- ・ 山中福子, 山田覚. (2007). 地域医療支援病院における外来看護師の役割. 高知女子大学看護学会誌, 32 (1), 48-56.
- ・ 横沢俊一. (2017). 論点 3 施設長のための経営論 B 経営の枠組みを「ストーリー」でとら

えてみる (2)内部環境分析と外部環境分析. 井部俊子, 中西睦子(監), 看護管理学習テキスト第2版 看護管理概説第1巻 2017年度刷(p177). 日本看護協会出版会.

- ・ 吉田澄恵,佐々木由美子,久保田聡美.(2007).外来看護をめぐる課題と今後の可能性.看護管理.17(8).642-649.
- ・ 吉川照美, 中尾三千代, 山野多恵子, 仙頭みほ. (2010). 外来患者の在宅療養上のニーズに関する調査. 香川労災病院雑誌, (16), 95-99.

参考文献

- ・ Ambrose,S.A.,Bridges, M.W.,DiPietro,M.,Lovett,M.C.,&Norman,M.K. (2010/2014). 栗田佳代子(訳), 大学における「学びの場」づくり よりよいティーチングのための7つの原理,玉川大学出版.
- ・ Hamric,A.B.,Hanson,C.M.,Tracy,M.F.,O'Grady,E.T.(2017).中村美鈴,江川幸二(監訳),高度実践看護 統合アプローチ.へるす出版.
- ・ 萱間真美.(2016).リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術.医学書院.23-26.
- ・ 前田樹海,江藤裕之.(3013).APA に学ぶ看護系論文執筆のルール.医学書院.
- ・ 大木秀一.(2013).看護研究・看護実践の質を高める 文献レビューのきほん.医薬出版株式会社.
- ・ 丹羽郁夫.(2015).ジェラルド・キャプランのメンタルヘルス・コンサルテーションの概観. コミュニティ心理学研究.18(2).160-17